

# エピコンBR

2019年10月  
No. 6038A

タイプ	エポキシ樹脂系塗料																													
特長	①耐水性、耐海水性が優秀で船舶等の過酷な条件下で長期間優れた防食性を発揮。 ②カスケードタンク等の常時85℃の高温没水環境下での付着性、防食性が優秀。 ③耐油性が優秀。																													
用途	カスケードタンク、清水膨張タンク、バラスタタンク、各種オイルタンク、他																													
塗料性状	混合比率（質量比） ・ 主剤：硬化剤 = 90：10 色 ・ ・ ・ ・ ・ ライトグレー、赤さび 密度 ・ ・ ・ ・ ・ 1.51g/mL (ISO:2811) 容量NV (VS) ・ ・ 58±2% (ISO:3233) 重量VOC ・ ・ ・ ・ 26.7wt% (Method24) 塗付量（理論値） ・ 260～521g/m <sup>2</sup> 膜厚 ・ ・ ・ ・ ・ ウェット 172～345μm ドライ 100～200μm																													
(D.F.T. 125μm)		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃																								
乾燥時間	指触	3.5時間	2.5時間	1.5時間	30分	15分																								
	硬化	36時間	24時間	12時間	6時間	4時間																								
塗装間隔	最短	36時間	24時間	12時間	6時間	4時間																								
	最長 *	28日	28日	21日	14日	10日																								
	最長 **	10日	10日	7日	5日	3日																								
可使時間		10時間	7時間	5時間	3時間	1.5時間																								
熟成時間		30分	30分	20分	10分	—																								
塗装条件	塗装方法 ・ ・ ・ ・ ・ エアレススプレー、はけ塗り、ローラー塗り 気象 ・ ・ ・ ・ ・ 温度:5℃以上、湿度:85%RH以下、表面温度:露点+3℃以上 エアレススプレー時 ・ 適正粘度:1.6～2.0 Pa·s チップ No.: (GRACO) 419～723 二次(塗料)圧:14.7～17.7MPa ガン移動速度:60～80cm/秒 シンナー ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ用シンナーB、 希釈率:0～15%[容量] 素地調整 ・ ・ ・ ・ ・ 新造・新設:鋼板に直塗りISO Sa2 1/2、ショッププライマー塗装面ISO St3 補修・保守:油分またはグリース等を除去し、塩分等は(高圧)清水洗いで、清浄にして乾燥させて下さい。発錆部・溶接部およびショッププライマーが損傷を受けた部分は、Sa2 1/2 (ISO 8501-1:2007)または St3 (ISO 8501-1:2007)に準じて処理して下さい。 水プラスト:販売店または弊社までお問い合わせ願います。 素地調整の方法は、素地および期待・要求される防食性能に依ります。 適合下塗 ・ ・ ・ ・ ・ セラバンド2000、エピコンジंकリッチプライマーB-2 適合上塗 ・ ・ ・ ・ ・ —																													
使用上の注意	①換気、火気に十分注意して下さい。なお、塗装のみならず、塗膜が硬化するまで換気が必要です。 ②2液混合形ですので、規定の混合比で混合してから使用して下さい。まず主剤を均一になるまで十分攪拌した後、硬化剤を徐々に加えて全体が均一になるまでさらに十分攪拌して下さい。さらに必要量シンナーを加えて、均一になるまで攪拌して下さい。 ③過剰なシンナーの添加は、タレ止め性や塗膜形成の低下を招く恐れがあります。 ④可使時間に制限がありますので必要量のみ調合して下さい。 ⑤* 次の条件を厳守下さい。 (1)直射日光が塗膜に当たらないようにマンホール等はサンネット等で覆うようにして下さい。 直射日光が当たった場合は、**が最長塗装間隔となります。 (2)塗膜が結露や浸水によって白化している場合、面粗した後に補修塗装を行ってください。 ⑥ブロック塗装時で曝露される場合は、**の最長塗装間隔を守って下さい。 ⑦SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。																													
荷姿	20kgセット (主剤18kg、硬化剤2kg) 5kgセット (主剤4.5kg、硬化剤0.5kg)																													
危険物表示	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>【主剤】</td> <td>/</td> <td>【硬化剤】</td> </tr> <tr> <td>消防庁登録記号</td> <td>130821</td> <td>/</td> <td>130826</td> </tr> <tr> <td>引火点</td> <td>25.2℃</td> <td>/</td> <td>25.2℃</td> </tr> <tr> <td>消防法危険物区分</td> <td>第二石油類</td> <td>/</td> <td>第二石油類</td> </tr> <tr> <td>爆発限界(体積%)</td> <td colspan="3">下限 1.1、上限 12.0</td> </tr> <tr> <td>有機溶剤区分</td> <td>第二種有機溶剤</td> <td>/</td> <td>第二種有機溶剤</td> </tr> </table>							【主剤】	/	【硬化剤】	消防庁登録記号	130821	/	130826	引火点	25.2℃	/	25.2℃	消防法危険物区分	第二石油類	/	第二石油類	爆発限界(体積%)	下限 1.1、上限 12.0			有機溶剤区分	第二種有機溶剤	/	第二種有機溶剤
	【主剤】	/	【硬化剤】																											
消防庁登録記号	130821	/	130826																											
引火点	25.2℃	/	25.2℃																											
消防法危険物区分	第二石油類	/	第二石油類																											
爆発限界(体積%)	下限 1.1、上限 12.0																													
有機溶剤区分	第二種有機溶剤	/	第二種有機溶剤																											
備考	①塗装条件等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。 ②PSPC認証品ではないため、PSPC対象エリアには塗装いただけません。 ③海水等に接触した後に塗膜が白っぽく変色する場合がありますが、塗膜性能に影響はありません。 ④没水環境での上限許容温度は常時85℃、連続5日以内であれば90℃です。																													

この製品説明書のデータは、予告なく改訂することがあります。

⑤塗料密度、容量NV(VS)、VOC量は、製品サンプルの実測値です(無希釈)。色相・ロット等により数値が若干変動する場合があります。

本製品説明書に記されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。